



2023年11月1日 第37号

J P 労組新潟連協退職者の会  
 〒951-8799 新潟市中央区東堀通  
 七番町 1018 新潟中郵便局内  
 発行責任者 会長 山田 太郎



第 1 回連協幹事会

新潟連協退職者の会  
**第一回幹事会**

協力会員の皆さまへ

< J P 労組新潟連協退職者の会 >  
機関紙「春夏秋冬」の送付について

謹啓 晩秋の候、協力会員の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃から「新潟連協退職者の会」及び「〇〇支部退職者の会」の活動にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、今年6月に開催された J P 労組第 16 回全国大会において協力会員制度の見直しが行われました。この見直しにより、満 60 歳を超えてシニアスタッフとして働く組合員の皆さんは全員が協力会員となりました。

この見直しを契機に、新潟連協退職者の会では、定期刊行（年 4 回）の機関紙「春夏秋冬」を今回から支部経由で協力会員の皆さまにお届けさせていただくこととしました。

この機関紙では、各種の活動や催し事へのご案内など、最新の情報を定期的にお届けいたしますので積極的にご参加いただければ幸いです。

本会に対するご支援とご協力をお願い申し上げ、機関紙送付のお知らせとご挨拶に代えさせていただきます。

2023 年 11 月 吉日  
 J P 労組新潟連協退職者の会  
 会長 山田 太郎  
 J P 労組〇〇支部退職者の会  
 会長 〇〇〇〇

9 月 14 日、新たな体制となった最初の連協幹事会を新潟市万代市民会館にて開催しました。

この幹事会では、役員の任務分担と年間執行方針等、当面の課題について意識統一を図りました。

今年度の重点課題として、会員拡大と 2 年後に迫った「おざわ参議院議員」選挙への対応について確認しました。

中でも会員拡大の関連では、協力会員制度の見直しを受け、現役による対象者の名簿づくりや個別対応の状況などを含め、現役との定期的な情報交換を行っていくこ

としました。併せて、協力会員の皆さんに退職者の会の活動を理解してもらうことを目的として案内文（左）をセットに、機関紙『春夏秋冬』を 11 月の発行から支部を通じて届けていくこととしました。

選挙関連では、おざわ参議院議員の受け入れも視野に、みらい研・政治学習会などを企画していくこととされています。

コロナ禍が長く続き、この間、退職者の会の基本活動である交流と親睦会の開催が困難でしたが今回は久しぶりの開催となりました。

# 支部定期総会の開催状況

2023 年度の各支部定期総会が終了しました。これまでのコロナ禍の影響による自粛モードから以前のスタイルに戻り、退職者の会の活動の基本である懇親交流会が復活しています。また、総会運営では、来賓及び会員の参加も増加傾向となりました。

支部名	月 日	曜	会 場	時 間	懇親会	参加数・女性(昨年)	参加役員
新 潟	8 月 27 日	日	アートホテル新潟駅前	10 : 30	○	2 9 ・ 5 (23)	山 田
佐 渡	8 月 6 日	日	ホテル「浦島」	16 : 00	○	1 5 ・ 0 ( 8)	—
下 越	9 月 24 日	日	イクネスしばた	13 : 30	○	2 9 ・ 2 (25)	河 内
新 津	9 月 2 日	土	秋葉区新津健康センター	10 : 00	—	2 0 ・ 4 (20)	山 田
西蒲原	8 月 21 日	月	西蒲区「だいろの湯」	11 : 00	○	2 0 ・ 0 (20)	山 田
三 条	8 月 24 日	木	三条市「まるい」	11 : 30	○	1 6 ・ 0 (12)	牧
中 越	9 月 6 日	水	まちなかキャンパス長岡	14 : 00	○	2 1 ・ 0 (13)	山 田
魚 沼	8 月 30 日	水	小千谷市「プラザ片山」	11 : 00	○	3 9 ・ 2 (14)	山 田
上 越	9 月 10 日	日	上越レインボーセンター	14 : 30	○	2 3 ・ 0 (23)	内 藤

## 2023年度 前期支部共済担当者会議



J P 労組信越主催の「2023年度前期支部共済担当者会議」が9月2日(3日)、上越市「アートホテル上越」において、来賓9団体と地本役員等、関係者75名が参加する中で開催され、新潟連協退職者の会からは内藤・牧両副会長が参加しました。

主催者挨拶後、各団体から挨拶と取扱商品の説明がありました。

その後、2022年度目標における各支部の実績報告が行われ、優秀支部表彰式があり1日目を終了しました。

2日冒頭、2022年度の取り組み状況と火災・自然災害共済の現状について綿貫事務局長から報告がありました。

1つの特徴として、各支部で推進状況に温度差があるが、この要因は支部共済運営(執行)委員会の受け止めや意識統一が大きく影響していること、2つに火災共済加入者は現役組合員の割合が低く、半数以上が退職者となっており、信越ではその傾向が顕著で益々進んでいくと考えられることなどが上げられています。

続いて、米持共済事務局次長(信越共済地方部長)から総合共済制度の改定(案)の説明と支部共済体制及び責任者の明確化の要請、並びに第17回定期全国大会が新潟市で開催されるにあたって共済加入者の拡大で全国仲間を迎えたいとの決意が示されました。

今会議に参加しての感想は、共済推進目標の達成に向けて地本、連協、支部とも例年になく強い意欲が感じられる点も、改めて労働組合の原点である「助け合いの運動」が大切であると認識したところでした。

## 新 会 員 介 紹



3月～5月を会員拡大の集中行動期間として、支部で取り組みを進めてきました。

先月号に記載が間に合わなかった新会員について紹介します。協力会員制度の見直しもありましたが、正会員拡大に向け、現役の皆さんとしっかり連携を図りましょう。

支 部	氏 名	加入日
中 越	田村 文子	7/24 多摩東より
上 越	安原 久子	8 月 1 日
魚 沼	上村 洋幸	8 月 3 日
魚 沼	野沢 靖	8 月 1 3 日
上 越	山本 正行	9 月 1 日
上 越	中野 幹根	9 月 1 日



# 『悠友会』第8回ゴルフ大会



表彰式



優勝	新潟支部	尾方 啓介(中)	現役
準優勝	新潟支部	高橋 信一(右)	現役
第三位	新津支部	米田 秀逸(左)	退職者

「悠友会」の第8回ゴルフ大会が10月6日、新潟ゴルフ倶楽部にて開催されました。最大瞬間風速21メートルという台風のような荒天の中、県内各地より42名の仲間が参加しました。

年に1回の悠友会メンバーの交流会ですが、会を重ねるごとに高齢や体調不良等により参加を見送る常連客が増えていきます。と同時に定年を迎え退職者の会員となつて悠友会に加入し参加する新たな顔ぶれも増えています。

今回は現役組合員からの参加も多くあり、まさに現退一体の交流が図られた大会となりました。

その影響もあつて、第8回目にして初めて、優勝・準優勝を現役組合員に持ち去られることになりました。

次年度からは、メンツを気にせず、シルバートイグランドからショットだ。という声が退職者の中から上がりました。

## 長寿で健康 生き生きコーナー

中越支部（柏崎ブロック）

### 小林 廣太郎 さん (86歳)

#### 中越支部（柏崎ブロック）退職者の会 最長老幹事！！



柏崎ブロックでは小林廣太郎さんに長い間、それこそ永い間、旧柏崎支部や柏崎ブロックの幹事を継続して務めていただいた。いや！今期も務めていただいている。

70歳中頃から、代わりの方を考えてほしいと話され、「80歳を超えた」「85歳を超えた」と、何回か交代の要望をされてきた。

その都度、今回だけは続けてほしいと慰留をお願いし、今日に至っている。本当にありがたいことだ。こんな事もあった。幹事会で懇親を兼ねてマレットゴルフを楽しんだ時の事だ。

虫刺されに弱い御仁が、ブヨに顔や半袖の腕など、数か所やられた。しばらくすると痒い痒いの症状が出て、顔や腕が腫れ始めた。

帰宅後、その症状は更にひどくなったという。

その日の夕刻、小林さんは御仁に、マムシ酒をお届けした。

おいしく飲めるよう熟成したマムシ酒であるが、塗布すれば、毒消しの効果もあるという。

顔を腫らしていた御仁、小林さんから頂いたマムシ酒で（飲酒でなく）塗布をしたら、見事ムズがゆ、ほてり、むくれが治ったという。さすが、小林さんの思いが毒を制した。

私が訪れる時、小林さんは、大抵奥さんと自宅近くの畑におられる。畑作は「奥様が上手」と、「よいしょ」の気遣いも怠りない・・・

60歳定年退職以来、86歳の今日まで、J P 退職者だけでなく、町内会では区長や老人会の会長など、長い間責任ある立場の役員を務められた。

人望も厚く、そして何よりもお元氣だ！！

（取材 柏崎ブロック 渡邊五四子）

# 2023 全国高齢者集会

9月19日(火)、日本退職者連合主催による「2023全国高齢者集会」が文京区シビックホール(東京)で開催され、全国から約1300人が集結しました。

J P 労組退職者の会からは関東エリアを中心に約100名、新潟連協退職者の会からは、代表して山田会長が参加してきました。

集会は、創作和太鼓のオープニングに続き、主催者代表・人見会長挨拶の後、来賓として、立憲民主党、国民民主党、社会民主党等の各政党代表の挨拶と関係団体として、中央労福協、労金協会、こくみん共済の紹介がありました。

集会の要となる記念講演は、「世界の構造変化と日本の未来」をテーマに、寺島実郎氏(評論家)を講師に迎え、埋没していく日本社会の現状について、



背筋が寒くなるような報告も含まれた。改めて異次元の高齢化社会への対応が必要となつていきます。最後は、集会アピールの採択と団結ガンバロウで散会となりました。

## お知らせコーナー (県内全支部の慶弔者名を記載)

### おめでとうございます

(2023年8月~2023年9月) (敬称略)

慶事	月	お名前	支部
喜	8月	坂井 徳洲	三条
		諸橋 篤弥	三条
		田村 正	中越
		本田 栄司	中越
		佐藤 康二	魚沼
		関口 昇士	魚沼
寿	9月	本間 勝雄	佐渡
		伊藤 勉	下越
		星野 有次	西蒲原
		池田 肇	魚沼
		藤本 昭好	上越

### お悔やみ申し上げます

(2023年7月~2023年9月) (敬称略)

月	お名前	支部	ご逝去日
7月	岩橋 タイ	新津	23日
8月	本間 一人	新津	1日
	滝沢 歳秋	下越	7日
	阿部 昭吾	三条	12日
	山郷 達二	佐渡	14日
	小宮 稔	三条	16日
	亀貝 アイ	新潟	19日
9月	小黒 二六	中越	21日
	大竹 博	中越	30日
	片山日出海	上越	1日
	相田 順介	三条	2日
	桜井シゲエ	新津	4日
	福田 英子	新潟	5日
	渡部 重雄	新津	29日

#### <「春夏秋冬」第36号の訂正>

「長寿で健康生き生きコーナー」

新津支部・二宮修一さんは、佐々木勝廣さんの誤植です。

「お知らせコーナー」喜寿-青木幸雄さん(新潟→新津)、お悔やみ-川見昭弘さん(新津→新潟) 訂正しお詫びいたします。



## あ と が き

ロシアによるウクライナ進攻が長期化し憂慮すべき事態がいまなお続く。

世界はいま、力を背景に一方的な現状変更を迫る動きが拡がっている。

こうした背景の中、日本でも平和の危機が強調され、安保関連三文書や増税を前提とした防衛費の倍増など、安全保障の見直しが急激に進められようとしている。

防衛力強化財源確保法については、復興特別所得税や年金財源を流用するものであり、到底受け入れられるものではない。

また、5年間で43兆円、GDPの2%という根拠は、NATO加盟国の国防費を基準としているという点だが、立憲民主党・泉代表によれば、これは2014年当時の数値目標であり、現在、国防費2%の国は、NATO加盟国32カ国で半分もない、という。

それを5年で2%にすると岸田総理はわめてはいるが、いかに現実的でないかという証でもある。

安倍政権以上に軍拡にのめり込んでいる岸田政権の最優先課題は、もつと国民の声に寄り添い、異次元の少子高齢化対策や子育て支援など、真剣に汗をかかなくてはならないか。